

「近未来の課題解決を目指した実証的社会科学的研究推進事業」最終評価結果表

研究領域	研究領域1 豊かな経済活力を生む社会経済制度の設計
研究課題名	持続的成長を可能にする産業・金融ネットワークの設計
責任機関	一橋大学
研究代表者	植杉 威一郎 (経済研究所准教授)

評価結果

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった
 A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった
 B. 事業の目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
 C. 十分な成果があったとは言い難い

評価にあたっての意見

企業間ネットワークに関する実証分析に基づいて、「つながり力」の不足解消が生産性や成長に与える効果について、負の側面を含めて、定量的な研究がなされ、また、「つながり力」を強めるための具体的な方策の提言がなされており、事業の目的に照らして十分な成果があったと認められる。

研究体制はおおむね適切であり、研究成果の着実な発信に努めたことが認められる。

今後、グローバルな場面に関するデータの収集とそれに関する研究がなされることが期待される。

今後、法制度の望ましい姿に関する提言が具体的になされることを期待するとともに、成果がどのように活用され、具体的な政策展開につながったのかを評価し、フォローアップしていくことを期待する。